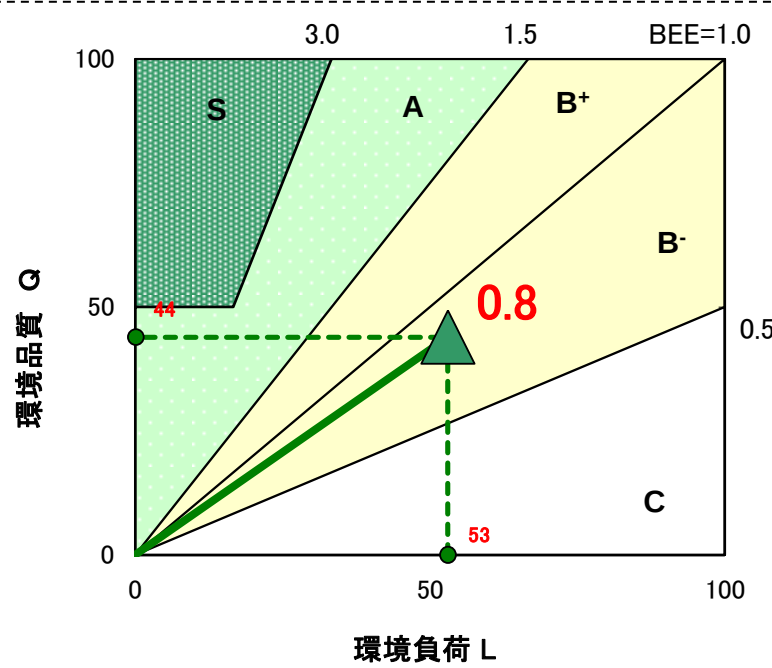


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)世安町マンション 新築工事	階数	地上10F	 外観パー 外観図の 【外観図】	
建設地	熊本県中央区世安町361-2の一部、	構造	RC造		
用途地域	第2種住居地域、近隣商業地域	平均居住人員	80 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年		
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2015年6月24日		
敷地面積	1,578 m ²	作成者	蔵原 佳代子		
建築面積	314 m ²	確認日	2015年6月24日		
延床面積	2,648 m ²	確認者	伊東 正太郎		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		BEE = 0.8		$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$																															
				■環境効率評価基準																															
				<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る
ランク	ランク表示	評価	判定値																																
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率		■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																															
		75%		<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																		
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	☆☆☆☆☆																																		
30%超60%以下	☆☆☆☆																																		
60%超80%以下	☆☆☆																																		
80%超100%以下	☆☆																																		
100%超	☆																																		

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価		評価点												
		67												
	評価点	■熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	65.3	<table><tr><th>判定値(評価点)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>100点以上</td><td></td></tr><tr><td>80点以上100点未満</td><td></td></tr><tr><td>60点以上80点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点以上60点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点未満</td><td></td></tr></table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	56.2													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	73.7													
※評価点は、100点以上が推奨です。														

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)



CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)世安町マンション 新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境					0.40		-	3.0
1 音環境				1.9	0.15	2.5	1.00	2.3
1.1 騒音		【集合住宅】40dB(A)ホール、40dB(A)居室【物販店】50dB(A)店舗		3.0	0.49	4.0	0.50	
1.2 遮音				1.0	0.49	1.0	0.50	
1		開口部遮音性能		1.0	1.00	1.0	0.30	
2		界壁遮音性能		-	-	1.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.02	-	-	
2 温熱環境				2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御				2.2	0.50	3.0	1.00	
1		室温		3.0	0.62	-	-	
2		外皮性能		1.0	0.36	3.0	1.00	
3		ゾーン別制御性		3.0	0.02	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	3.4	1.00	3.3
3.1 昼光利用				4.0	0.32	3.4	0.30	
1		昼光率		5.0	0.54	5.0	0.50	
2		方位別開口		-	-	1.0	0.30	
3		昼光利用設備		3.0	0.46	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.27	4.0	0.30	
1		昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.27	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.59	4.0	0.63	
1		化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
2		アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.39	2.3	0.38	
1		換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2		自然換気性能		-	-	1.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.02	-	-	
1		CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2		喫煙の制御		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				1.6	0.40	2.6	1.00	2.3
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60	
1		広さ・収納性		-	-	-	-	
2		高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
3		バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1		広さ感・景観		1.0	0.03	3.0	0.50	
2		リフレッシュスペース		2.0	0.03	-	-	
3		内装計画		1.0	0.94	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3		衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	
1		耐震性		3.0	0.80	-	-	
2		免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				3.6	0.03	3.6	0.50	
	1	階高のゆとり	【集合住宅】階高:2.965m 【物販店】階高:3.5m	4.0	0.60	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.03	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.94	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	構造部材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	構造部材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			断熱材使用	3.1	0.20	-	-	3.1
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.84 住宅(専有部) —	2.0	0.50	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明採用	4.0	0.10	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			0.7	0.90	-	-	
4 効率的運用				2.9	0.20	-	-	2.9
	集合住宅以外の評価			2.0	0.10	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	0.90	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
	2		雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		置床下地、軽天	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			高効率設備の導入	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		・風下地域に関係ない・見付面積比:67.09%・隣棟間隔指標:0.53・外	4.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観に調和するようシンプルな外観デザインとした

Q1 室内環境

居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、住居部はビニールクロスを採用。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁材（タイル）の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る。

LR1 エネルギー

日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるよう、庇を広く計画した。
グレアの軽減も図る。

LR2 資源・マテリアル

スプリンクラー消火

LR3 敷地外環境

限られた敷地内でできる限りの駐車台数・駐輪台数を確保した。
ゴミ置場を設け、悪臭が周囲へ漏れないようにし、景観に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)世安町マンション 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		67
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				65.3	0.40	26.12
Q1-2.1.2	外皮性能	2.5	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.5	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.1	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	4.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				73.7	0.20	14.74
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数